

新潟市下水道管路施設ウォーターPPP導入に向けた説明会  
質疑応答記録

番号	分類	質問	回答
1	積算	統括管理業務の積算方法はどのように考えているか。	積算基準等が無いものは、見積り対応と考えているが、今後検討していきたい。
2	コンストラクションマネジメント	説明資料P15にはコンストラクションマネジメント（CM）を含んだ記載となっているが、P21には含まないと記載されている。本事業にはCMは含まないという理解でよいか。	説明資料P15は一般的な事例を示している。本市の目指す業務については、コンストラクションマネジメントは含まないという理解でよい。
3	プロフィットシェア	プロフィットシェアについて、受注者側からの提案と記載されているが、管理者側からの提案はないのか。	国交省のガイドラインでは受託者からの提案を基本としているところだが、管理者側からの提案が全くないということではなく、双方で協議のうえ進めていきたい。
4	事業費	事業費を大項目ごとに示してもらえないか。	現在の管路包括やその他業務の実績から試算すると、業務全体では年間4～5億程度、10年間で40～50億程度の規模感になると想定している。
5	資格要件	統括管理責任者はどのような資格要件を想定しているか。	国交省のガイドライン等を参考に今後検討していきたい。
6	予防保全型維持管理	ウォーターPPPの導入が予防保全型維持管理へどのように繋がるのか次回は説明すると、事業者も提案しやすいのではないか。	頂いた意見を踏まえて、次回の説明に反映させていただく。
7	技術基準等の見直し	P32. P33技術基準等の見直しによる事業量の補足説明	P26～の対象数量で説明した調査延長約15km/年について、技術基準等の見直しにより、最低でも約28 km/年になるのではないかと想定している。今後も段階的に情報提供を行っていきたい。